

藤原正和さんのメッセージから、考えたことや感じたことを書きましょう。

私も、いい時に寄ってくる人、悪い時に離れていく人ではなく、悪い時にこそ応援し支えてくれる人が本当に信じられる人だなと思いました。

藤原正和さんが言っている、自然と好かれるような人になって、どんな状況の時にも自分から離れていくことなく変わらずに応援してくれる人たちに囲まれています。

過去は変えられないけど、未来は変えられるので、未来を変えるためにも、今色々な事をかんばったり、努力したりしていきたいです。

たくさん色々な経験をした正和さんが言っているように、ふたんから基本的なあいさつをしたり、人の気持ちを考えられるような人になって、人から信じてもらえるような行動をできるようになりたいです。

いい時も悪い時もいつでも信頼してもらえる人になるためには普段から周りを見て行動したり、礼儀やルールをわきまえることや人の気持ちを考えてすることが大切なのかなと思いました。

人はいい時は人が寄ってきて、悪い時は離れていってしまうけど、どんなときでも変わらず支えてくれる人が本当に信頼できる人で僕は信頼される人いふときでも誰かを信頼され続けられる人になっていきたいです。悪い時も人に信頼されるための行動を続けることでいつか報われるし、我慢強く支えてくれる人もいるということが分かったから、気持ちや気分が落ち込んでしまったり、行動を失敗してしまったとしてもよい行動を続けていくことが大切だと思います。一度起きてしまったことは変えることは出来ないけど未来は変えられるから、気持ちを改め、少しずつ変えていけるころは変えていくのが人生において重要だなと思いました。

今まで応援して支えてくれていたと思っていた人達が、
手のひらを返したように接するというのは、とれと同時に
人を恨む気持ちが芽生えるというのに少し共感しました。

本当に応援をしてくれていて、支えてくれているとしたら、
そんな事では手を返すような事はしはいと思います。逆にどんな
事があっても信じて持ってくれるのが本当に信じられる人
だと思います。かといってそれにつけむけでも無くそれは
一つの試練だと思えるような強い生き方をしたいです。

人は周りの人の支えなしに生きるにもがんばるにもたてまなく、一人で生きていくというのは
絶対に無理なことだと思います。だから人と人との信頼関係は大切なことだと思います。
藤原正和さんが「信じられる行動を普段からとれるか。それだけ人を信じられるか」と
言う言葉を聞いて自分は普段から信じられる行動をとれるかは自信がまだなくて信じられる
人は基本的なあさつや礼儀をわきまえる人、ルールをきちんとまもれる人、人を気遣う
をしっかりと考えられる人だと私もそう思います。こういった行動は人としてあたり前のことだけと
あたり前のことが一番大切なことだと思います。さらに「それだけ相手を信じられるか」それは
信頼関係において大切なことだと私も思います。相手が自分の言ったことを信じる、という
ことは相手に信頼されていることだと思いのであたがが信じ合って2人の関係になると
思うからです。私はこれからとくに基本的なあさつをしっかりとてきたいです。学校に行く時に
地域の人に積極的にあさつしていきたいです。

このメッセージを読んで私は、自分が本当に信じられる人を見つけるには、自分が誰からも頼られて、信じてもらえるかが大切なんだなと感じました。ただただ自分を本当に信じてくれて、信頼できる人を持つんじゃないかと、自分が変わって本当に信頼できる人間にならないと意味がないと私は思います。普段から、あいつなんだの礼儀ができて、何かしてもらった時には素直にお礼が言えて、そういう人が誰からも信頼される人なんだなと私も生活を通して思いました。だから、みんなが見ている時だけ良い事をするんじゃないかと、誰もいない1人の時でも誰かのために何かするとかでできる人が私はすごいと思うし、私もそうなりたいです。自分が本当に信頼できる人になるためにも、周りの人の事を考えて、行動できるようにしたいと思いました。

確かに「成功」というものには自分の努力や志などが積み重なってやっとのことで成し遂げられることだと思います。でも、今回この話を読んで大切なのはそれだけじゃないんだということも分かりました。人々の支えや応援があってこそ成功は成り立つんだなと思いました。

でもやっぱり必ず周りに自分を支え、守ってくれる人がいるとは限らないから、今自分のことを信じてくれている人を信じて共に生きることが大切なんじゃないかと思いました。

藤原さんが言っていたように、人のことを大切にできる優しい人は困った時助けてもらえるから、私も少しずつ今そばにいてくれる家族や友達を今よりずっと大切にしたいなと思いました。